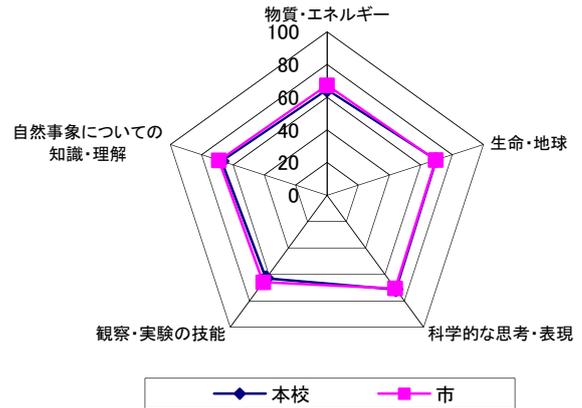


# 宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	64.6	67.3
	生命・地球	69.7	69.5
観点別	科学的な思考・表現	71.3	70.6
	観察・実験の技能	62.9	65.9
	自然事象についての知識・理解	67.2	69.0



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○平均正答率は、市の平均を2.7%下回っている。内容別にみると「水溶液の性質とはたらき」の問題で、低い正答率を示す項目があった。特に「水溶液のようすや水を蒸発させた結果から、水溶液を判断する。」の問題で、正答率が10.1%下回った。6年時の学習内容「物の燃え方と空気」の問題項目では、市の平均を上回るかほぼ同じ正答率を示した。	○実験を伴う学習においては、予想を立てて実験を行い、実験から結果を導くことを、要点を押さえて今後もきちんと指導していく。また、実験器具・場の充実を図り、児童が主体的に実験に係ることができるようにしていく。さらに、グループごとに考察したことを検証し、まとめ上げる学習活動を大切にして、学習内容の習熟を図っていく。
生命・地球	○平均正答率は、市の平均を0.2%上回っている。内容別にみると「植物のからだのはたらき」「太陽と月の形」「生き物のくらしと環境」では、全ての問題項目で市の平均を上回る正答率を示した。「人のたんじょう」「動物のからだのはたらき」の問題では市の平均を下回る正答率を示す項目があった。「消化された食べ物の養分は、主に小腸から吸収されることが分かる。」の問題で正答	○「植物のからだのはたらき」の問題正答率が高かったのは、学年の教材園にじゃがいもの苗を植え、収穫まで継続して観察を続け、興味関心を高めてきたためと思われる。「人のたんじょう」や「動物のからだのはたらき」では、模型や視聴覚教材を活用して理解を深めていくとともに、保健学習とも連携して、学習内容の定着を図っていくようにする。